

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 1 区分

【発行日】平成25年1月31日 (2013.1.31)

【公表番号】特表2012-510803(P2012-510803A)

【公表日】平成24年5月17日 (2012.5.17)

【年通号数】公開・登録公報2012-019

【出願番号】特願2011-539034(P2011-539034)

【国際特許分類】

C 1 2 N 15/09 (2006.01)

C 1 2 Q 1/37 (2006.01)

C 0 7 K 2/00 (2006.01)

C 0 7 K 16/00 (2006.01)

C 1 2 N 5/10 (2006.01)

C 1 2 N 1/19 (2006.01)

C 1 2 N 1/21 (2006.01)

C 1 2 N 1/15 (2006.01)

C 1 2 P 21/02 (2006.01)

A 6 1 K 38/00 (2006.01)

A 6 1 P 3/10 (2006.01)

【 F I 】

C 1 2 N 15/00 A

C 1 2 Q 1/37

C 0 7 K 2/00

C 0 7 K 16/00

C 1 2 N 5/00 1 0 1

C 1 2 N 1/19

C 1 2 N 1/21

C 1 2 N 1/15

C 1 2 P 21/02 C

A 6 1 K 37/02

A 6 1 P 3/10

【手続補正書】

【提出日】平成24年12月4日 (2012.12.4)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

インスリン分泌促進剤と、血清アルブミンに結合したドメイン抗体とを含むプロテアーゼ耐性単離ペプチドであって、該ドメイン抗体が配列番号 22 に記載のアミノ酸配列を有する、プロテアーゼ耐性単離ペプチド。

【請求項 2】

インスリン分泌促進剤が、G L P - 1 またはその誘導体である、請求項 1 に記載の単離ペプチド。

【請求項 3】

単離ペプチドが更にリンカーを含み、好ましくは該リンカーが螺旋状リンカーおよび P

S S から選択されるものである、請求項 1 または 2 に記載の単離ペプチド。

【請求項 4】

配列番号 1 1 ~ 2 1 のいずれかに記載のアミノ酸配列を有する、プロテアーゼ耐性単離ペプチド。

【請求項 5】

配列番号 2 2 に記載のアミノ酸配列を有するドメイン抗体を含む、プロテアーゼ耐性単離ペプチド。

【請求項 6】

( i ) 約 1 0  $\mu$  g / m l ~ 約 3 m g / m l のプロテアーゼ、( i i ) 約 2 0 ~ 約 4 0 、および ( i i i ) 少なくとも約 3 0 分間の条件下 (例えば、1 0 0  $\mu$  g / m l のプロテアーゼ、3 7 で少なくとも 1 時間の条件下) で、プロテアーゼとともにインキュベートする場合に、トリプシンおよびキモトリプシンから選択される一以上のプロテアーゼに対して耐性である、請求項 1 ~ 5 のいずれか一項に記載の単離ペプチド。

【請求項 7】

請求項 1 ~ 6 のいずれか一項に記載のペプチドを含む、治療用組成物。

【請求項 8】

糖尿病、糖尿病関連障害、または肥満を治療および / または予防するための、請求項 7 に記載の治療用組成物。

【請求項 9】

経口、舌下、直腸、または非経口により投与される、好ましくは皮下、筋肉内、または静脈内注射により投与される、請求項 7 または 8 に記載の治療用組成物。

【請求項 1 0】

請求項 1 ~ 6 のいずれか一項に記載の単離ペプチドをコードする、単離または組換え核酸分子。

【請求項 1 1】

配列番号 2 3 に記載の核酸配列を含む、単離または組換え核酸分子。

【請求項 1 2】

請求項 1 0 または 1 1 に記載の単離核酸分子を含む、ベクター。

【請求項 1 3】

請求項 1 0 または 1 1 に記載の単離核酸分子または請求項 1 2 に記載のベクターを含む、宿主細胞。

【請求項 1 4】

宿主細胞がピキア種である、請求項 1 3 に記載の宿主細胞。